

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 12 月 10 日 (2015.12.10)

【公表番号】特表 2014-532775 (P2014-532775A)

【公表日】平成 26 年 12 月 8 日 (2014.12.8)

【年通号数】公開・登録公報 2014-067

【出願番号】特願 2014-538844 (P2014-538844)

【国際特許分類】

C 0 8 L 33/06 (2006.01)

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 33/06

C 0 8 L 23/08

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 10 月 19 日 (2015.10.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

任意選択の第 1 の成分と、第 2 の成分と、第 3 の成分とを含む硬化性組成物であって、
前記任意選択の第 1 の成分は、前記組成物の総重量基準で 15 ~ 85 重量%で前記組成物中に存在し、

前記任意選択の第 1 の成分は、コポリマーの総重量基準で少なくとも 28 重量%の極性モノマーを含有する、エチレンと極性モノマー由来のコポリマーを含み、

前記極性モノマーは、酢酸ビニル、アルキル(メタ)アクリレート、又はこれらの組み合わせであり、

前記第 2 の成分は、前記組成物の総重量基準で 5 ~ 50 重量%で前記組成物中に存在し、

前記第 2 の成分は、エチレンと、酢酸ビニル又はアルキル(メタ)アクリレートと、一酸化炭素由来のコポリマーを含み、

前記第 3 の成分は、コポリマーの総重量基準で少なくとも 45 重量%のアルキル(メタ)アクリレートを含有するエチレンとアルキル(メタ)アクリレート由来のコポリマー、アルキル(メタ)アクリレートのポリマー、又はこれらの混合物を含有する、

硬化性組成物。

【請求項 2】

前記アルキル(メタ)アクリレートのポリマーが、エチル(メタ)アクリレート、プロピル(メタ)アクリレート、ブチル(メタ)アクリレート、n-ペンチル(メタ)アクリレート、n-ヘキシル(メタ)アクリレート、2-エチルヘキシル(メタ)アクリレート、n-オクチル(メタ)アクリレート、又はこれらの 2 種以上の組み合わせ、を含む少なくとも 1 種のアルキル(メタ)アクリレートのホモポリマー又はコポリマーを含み、

前記第 2 の成分が、前記組成物の総重量基準で 15 ~ 35 重量%で前記組成物中に存在し

る、
前記第 3 の成分が、前記組成物の総重量基準で 10 ~ 80 重量%で前記組成物中に存在する、

請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の組成物を含む又は前記組成物から製造された物品。

【請求項 4】

自動車用部品、航空宇宙用部品、鉄道用部品、又はケーブルを含む、請求項 3 に記載の物品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0083

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0083】

表 7 は、成分 A、F、J に関してゴム 100 部に対する部数として表した例 10、11、12 の組成、及び例 10、11、12 のガラス転移温度を示している。表 7 の各例用の成分を、100 で 10 分間 Collin ロールミルで混合して混合ポリマーを製造した。表 7 からわかるように、本発明にかかる組成物を含有する試料 11 及び 12 は、比較例 7 よりも低いガラス転移温度 (T_g) を示した。これは、本発明にかかる組成物が、当該技術分野で公知の組成物よりも低い温度でエラストマー部品として使用されうることを意味する。ガラス転移温度は DSC 法を用いてこれらのポリマーブレンドについて測定された。

次に、本発明の態様を示す。

1. 任意選択の第 1 の成分と、第 2 の成分と、第 3 の成分とを含む硬化性組成物であって、前記任意選択の第 1 の成分は、コポリマーの総重量基準で少なくとも 28 重量%の極性モノマーを含有する、エチレンと極性モノマー由来のコポリマーを含み、
前記第 2 の成分は、エチレンと、酢酸ビニル又はアルキル(メタ)アクリレートと、一酸化炭素由来のコポリマーを含み、
前記第 3 の成分は、コポリマー総重量基準で少なくとも 45 重量%のアルキル(メタ)アクリレートを含有するエチレンとアルキル(メタ)アクリレート由来のコポリマー、アルキル(メタ)アクリレートのポリマー、又はこれらの混合物を含有する、
硬化性組成物。
2. 前記第 2 の成分が、前記組成物の総重量基準で 5 ~ 50 重量%で前記組成物中に存在する、上記 1 に記載の組成物。
3. 前記極性モノマーが、酢酸ビニル、アルキル(メタ)アクリレート、又はこれらの組み合わせである、上記 1 又は 2 に記載の組成物。
4. 前記アルキル(メタ)アクリレートのポリマーが、エチル(メタ)アクリレート、プロピル(メタ)アクリレート、ブチル(メタ)アクリレート、n-ペンチル(メタ)アクリレート、n-ヘキシル(メタ)アクリレート、2-エチルヘキシル(メタ)アクリレート、n-オクチル(メタ)アクリレート、又はこれらの 2 種以上の組み合わせ、を含む少なくとも 1 種のアルキル(メタ)アクリレートのホモポリマー又はコポリマーを含む、上記 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の組成物。
5. 前記第 2 の成分が、前記組成物の総重量基準で 30 ~ 50 重量%で前記組成物中に存在する、上記 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。
6. 前記第 3 の成分が、前記組成物の総重量基準で 10 ~ 80 重量%で前記組成物中に存在する、上記 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。
7. 上記 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の組成物を含む物品。
8. 自動車用部品、航空宇宙用部品、鉄道用部品、又はケーブルを含む、上記 7 に記載の物品。
9. 自動車用部品、航空宇宙用部品、鉄道用部品、又はケーブルでの硬化性組成物の使用であって、前記硬化性組成物が上記 1 ~ 6 のいずれか 1 項の特徴を有するものである、使用。